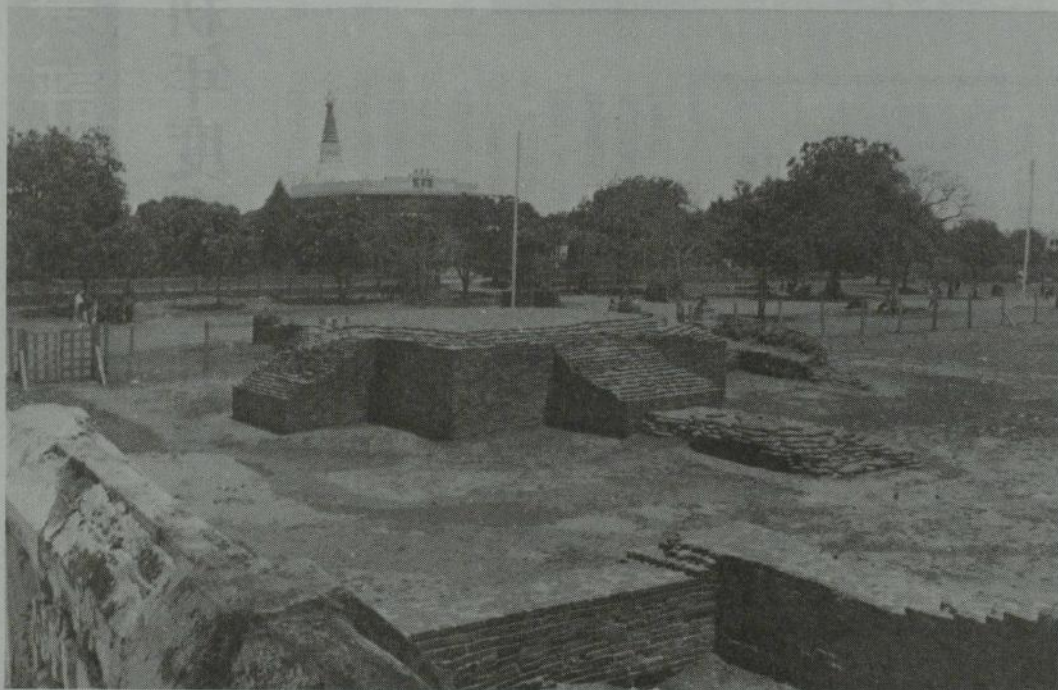


# 全 仏

NO. 246

3 / 54



## 今年はルンビニーの年。ご協力を！

お釈迦さまのご生誕地ネパールのルンビニーは、カピラバストウとデウアダハとの間に在り、現状は自然のままの状態に置かれ、かつての美しい花園や、沙羅樹林は、遠くヒマラヤ山麓へ後退してしまい、昔日の面影はありません。

昨秋日本で開催された第十二回世界仏教徒会議で、ルンビニーの完全復興をするため、今年を「ルンビニーの年」とすることが決議され、一方世界本部(WFB)から、このために世界中の仏教徒から米一ドル相当の援助をするよう呼びかけてまいりました。またネパール政府では、これの開発計画を提唱し、各国へ要請する一方、国連ユネスコ委員会等へも協力を求めています。

皆さまの心からなるご協力を切に念願するものです。

# 全日仏

## 理事、評議員会開く

### 新年度事業計画など承認

全日本仏教会では、二月二十九日午後一時より、京都ホテルにおいて理事会・評議員会を開催し、昭和五十四年度事業計画、歳入歳出予算などの議案を上げ、それぞれ慎重に審議がなされた。



京都ホテルで行われた評議員会

に開かれ、理事会は町田理事長病欠のため、理事長指名の岡田一成理事の代行議長が承認され、続いて議事録署名委員に長谷川靈信（念法真教）十持良栄（千葉県仏）の二師を選出して議事に入った。

評議員会は議長に華山恵光師（岡山県仏）、議事録署名委員に池田堂輝（中山寺派）吉田俊管（豊山派）の二師を選出して議事に入った。

報告事項「WFB日本大会報告」  
鎌田匡昭部長より報告

議案第一号「昭和五十四年度事業計画

年度歳入歳出予算について」

市橋財務部長より予算案を説明、関連議案と一括審議で了承。

議案第二号「WFB日本大会実行委員会解散について」

昨年十二月十一日の正副実行委員長会議での議決を源として、大会実行委員会

の解散を二月九日、事務局の閉鎖を三月三十一日として承認、残務ある場合は全

仏事務総局へ引き継ぐことを了承した。

### 第12回WFB日本大会 実行委員会が解散



第十二回世界仏教徒会議日本大会の実行委員会解散は、一月二十九日に京

について」

島田庶務部長より事務局

案を説明、関連二号、四号

議案と一括審議で了承。

議案第二号

「昭和五十四

前記一、二号議案と一括審議し、事業計画、歳入歳出予算とともに原案通り承認。

報告事項「本会事務所移転について」  
東京本願寺より貸借契約期限切れに伴う明渡し要求の申し出により、三月三十一日を期限として移転すべく、他所折衝中であると報告。

（理事会出席者）十持良栄、花田英忠、横井鶴洲、川口良信、林亮海、野村宗春、長谷川靈信、塩入亮達、本山完海、岡田己成、千葉昌丸、大石好文（代）  
（評議員会出席者）華山恵光、寿山良知、池田堂輝、吉田俊管、大橋寛阿、大倉律現、采山泰電、永見聖宏、藤田俊教、岩脇宏信、出雲路善嗣、山本勝隆、山崎良順、岩田利文、阿部本宣、松下教道、前田孝道、内田大寛、木辺宣慈、広島昭心

都において開かれた理事会・評議員会で二月九日に実行委員会解散、三月三十一日で事務局閉鎖が決定した。  
これにちぎ手き三月九日午後三時半より東京・浜松町の世界貿易会館において解散式を行なった。  
まずWFB日本大会の記録フィルムを上映。このあと挨拶につづいて、安

本国際文化局長より大会経過報告、安藤事務次長より大会総理報告がなされた。最後に桜井大乗実行委員長が「大会開催にあたっては実行委員の皆様にはそれぞれの立場で御活躍をいただき誠にありがとうございました。本日をもちまして委員会を解散いたします」と、実行委員の労を稱らい解散の宣言をし、拍手をもって承諾された。  
実行委員交代に深謝申し上げます。  
【写真は解散宣言をする桜井委員長】

### 事業計画、ほ ぼ前年を踏襲

昭和五十四年度の事業計画ならびに歳入歳出予算は、前述の評議員会・理事会において事務局原案が承認された。

事業計画、別項掲載の通り、ほぼ前年度を踏襲している。昨年は第十二回WFB日本大会開催のため中止された全日本仏教徒会議が茨城県仏の主催で行なわれる。またWFB関係として、ルンビニ復興への協力や国際交流関係行事が中心となっている。組織面では、県仏の組織強化や時局対策に力がそがれる。

歳入歳出予算、昨年度はWFB大会のため宗派、団体の負担金が据置であったが、今年度はこれらのアップにより総額五千二百八十万円で、七百二十五万円増となった。

歳出面では、事務局費の他に国内仏教徒会議費、WFB関係費などが増額されている。

### 事業計画各局の内容

#### △総務局

基本目標 本会寄付行為第五条により各種の事業遂行に必要な措置を講ずる。

実施項目 (1) 加盟団体との連絡提携の強化  
(2) 諸官庁および関係諸団体との連絡  
(3) 過年度(前年度を含む)採

#### 担事項の実施(担当事項)

#### △組織局

基本目標 本会寄付行為第五条の事業目的たる仏教運動の実践および育成を主とし、時代に即応した全一仏教運動を強く推進すると共に構成団体の一層の強化と団結を期するため下記の事業を実施する。

#### 実施事項

- (1) 第26回全日本仏教徒会議の開催
- (2) 未加盟団体の加盟促進
- (3) プロック別各県仏教会代表者会議の開催
- (4) 地方仏教運動の推進、地方仏教徒大会、講演会等へ協力
- (5) 各地恒信徒会の充実と全国組織化の推進
- (6) 時局対策
- (7) 過年度採択事項の実施(担当事項)

#### △国際文化局

基本目標 本会の寄付行為第五条の事業目的たる世界各国のWFBセンターおよび仏教諸団体との連絡、文化交流を中核として

仏教による国際親善と世界平和の実現を期する。また仏教運動の総合的企画促進、各種仏教運動の実践育成ならびに広報活動を活発に行うことにより、全一仏教運動の促進をはかる

#### 実施項目

- (1) WFB関係
- (2) 本部で決議された事項の実施、特にルンビニ復興計画への協力

- (3) WFB第十二回日本大会事務処理、WFB執行委員会、ユネスコ会議等への出席および代表派遣
- (4) その他必要な事項

- (5) 国際仏教交流関係
- (6) 臨時に行われる国際会議または巡拝団等への代表派遣
- (7) 訪日仏教徒の歓迎接待
- (8) 在日各国公館との連絡接渉
- (9) 海外における各宗派開教本部との連絡提携
- (10) 各国の天災戦災等に対する救援活動
- (11) その他必要な事項
- (12) 渉外広報関係
- (13) 英文日本仏教ニュースの刊行
- (14) 日本仏教紹介書の寄贈
- (15) その他必要な事項
- (16) 過年度採択事項の実施(担当事項)

#### △文化部

#### 実施事項

- (1) 機関紙「全仏」の発行普及
- (2) 日本仏教文化会議の企画および開催
- (3) 各種教化資料の作成と普及
- (4) その他広報宣伝に関する事項
- (5) 過年度採択事項と実施(担当事項)

## お寺に仏旗をかかげよう

大	たて 150C—よこ 247C	¥13,000円	小	70C—100C	¥ 3,000円
中	90C—	¥ 5,000円	手旗	35C—50C	¥ 1,500円

別染製 堅牢 (全日本仏教会制定意匠登録済)

各地区仏教会でまとめて御注文の際は価格の御相談に応じます。

### 財団法人 全日本仏教会

〒111 東京都台東区西浅草1-5-5 電話03・843・6341-3

### 全仏輪袈裟

こげ茶、法輪マーク付き  
¥一、五〇〇円

### 法輪バッチ

径1cm、ネジ式  
¥一、〇〇〇円

昭和54年3月1日

# こととしてはルンビニーの年

## ルンビニー 再建運動について

いちむら 承 秉



ルンビニーの全景と遺跡の一部

釈尊の誕生地ルンビニー再建運動が、国連とネパール政府を中心に、過去十年余発展して来た。昨年十月の第十二回WFB大会においては、今年を「聖地ルンビニーの年」と命名し、また日本側の提案に基づく大会宣言にも、同再建運動に全面的な協力と参加を誓約したばかりである。国連でも今年には国際児童福祉の年と定めた。意義深い一致である。しかし数を重ねた国際会議にもかかわらず、WFBは決議事項のほとんどにわたって実現を怠ってきた。従って今大会の成果についても、その実現如何が危惧されるところに、主催者側日本人仏教徒がいかに責任を完了するものであるかが気にかかっている。

阿育王の勅柱とともに同聖地が発見されたのは一八九六年であった。同じ頃ピツプラワ仏舎利塔より釈迦族の記録が出た。釈尊の歴史性は確認されたのである。その歓喜も束の間、その後は仏滅二千五百年祭（一九五七年）頃まで、寒村僻地として忘却されて来た。この事態は一九六六年国連事務総長ウ・タン氏の

巡拝を機に一転し、国連とネパール政府の協力は十ヶ国を含む委員会に発展。その依頼の下、丹下ウルテック建築会社は一九七二年再建プランの輪郭を発表した。更に一九七四年日本万国博覧会基金は技術的データの蒐集に後援、かくして一九七五年には第二次総合プランが完成された。成果は一冊に纏められ、昨年の大会中配布されたのである。

即ち、雨期浸水地区の査定及びその対策施設、考古学的発掘修復保存、訪問者統計予想によるホテル、食堂、医療設備、そして文化センター、僧院、禅センター等々に及ぶ内容である。緑陰豊かな再建地の完成の暁には、平和な憩いの地を提供してくれることは疑いない。

しかしここで反省せねばならぬことが一つある。そもそも上述の再建運動は、国連事務総長、ネパール君主等、個人の勅知やカリスマの決定に基づくものであった。従ってこの運動がそのまま一般仏教徒の運動として引き継がれて行くものかどうか疑わしい。昔から仏教徒は阿育王の範例に慣って、超越的宗教価値の一般

化、あるいは社会的表現は時代地域の権威者の役割と考えて来たためか、民主主義的に彼等自身の手で、宗教価値の翻訳実施を計る伝統を養成しなかった。

しかし近代社会の特徴は、一方では、聖俗の融合一致、また一方では逆に政教の完全分離という二動向に要約される。人類的社会に近接すればする程、異宗教の共存は要求され、国家や政府機関は単一宗教を支持出来なくなる。回教圏の如く、政教の区別なく、宗教律法が社会全般を規制するにおいては、彼等自身の近代化には勿論、宗教文化を異にする他の人類にとっては、真実迷惑千万なることである。従ってルンビニー再建運動も自ら限界が来るに違いない。

このような問題に対して日本人仏教徒はいかなる方途を用意すべきであろうか。東南亜諸国の仏教徒は熱意を持つが、発展途下国として、経済的余力や組織力に欠ける。西欧仏教徒にはそれがあがるが、人力的な少さであり、歴史に欠ける。しかし、日本人仏教徒にはそれがある。ネパール及び印度はヒンズー教徒が大多数を占めるため、仏教徒の社会的進出が難しいと聞く。聖地ルンビニーを取り巻く地域社会は仏教徒であることが望ましい。これら地域社会の近代化が誠意を以て考慮されない限り、世界より訪れる仏教徒は真の歓迎を受けないであろう。以上分析を加えることによって、日本人仏教徒の役割の重大さが理解出来るのである。

### ブリン会長からルンビニー基金アピール

ルンビニーの復興については、第十二回WFB日本大会でも決議されましたように、本年を「ルンビニーの年」として復興に努力することになりました。

今度、ブリンWFB会長より法友各位へ基金アピールが次のように寄せられました。

九年を「ルンビニーの年」とする決議がなされました。また「我々は釈迦牟尼仏の生誕の地ルンビニーの完全な復興に協力することの日本宣言も発せられました。このアピールは、それを受けて、世界の仏教徒とその友人に寄付を求め、よって現在ネパール政府の手で進められているルンビニー復興事業にあらゆる可能な寄与をすべく全てのWFBセンターに送られます。

本部は基本として各国の一人一人の仏教徒が最低一ドルずつの寄付をWFBルンビニー基金に送るよう要請しております。勿論各地の富裕なセンターや仏教徒からの多額な寄付がこの仏陀の生誕の地ルンビニー復興の崇高なる目的のために寄せられることも歓迎します。これによりルンビニーを全ての仏教徒の価値ある巡礼の地としてたいと希望しております。全ての寄付は銀行小切手または為替で左記にお送り下さい。

The Hon. Treasurer  
WFB Headquarters 33 Sukhumvit  
Road Bangkok 11 Thailand

### ルンビニーの現状



### 当時の面影止めず

ヒマラヤ山脈の南麓に広がるネパール平原に釈尊生誕の地ルンビニーがあります。積尊の時代、その庭は極めて美しく自然のままに植物や動物が繁茂

し生息していたと伝えられています。しかしながら今日のルンビニーは釈尊の生まれた頃の面影をほとんど止めず沙羅の樹の森は北へ移り、ヒマラヤの麓まで後退しており、聖なる庭そのものも、ただの空地と化しています。

田にとまる遺跡はごくわずかですがアショカ王が自らこの地を訪れたという碑文の刻まれたアショカ王の柱と摩耶夫人のために新しくつくられた寺院が現存しています。また、一九三三、四年にかけて行なわれた発掘により、僧院の基礎と奉納された卒塔婆並びに大きな合座が発見されています。

ルンビニーは仏教徒にとって四大聖地の一つですが、交通の便は極めて悪くカトマンズから飛行機でくる巡礼や観光客にとって、この聖地に最も近い飛行場と聖地を結ぶ唯一の連絡路は牛車の通れる道だけという状態です。現在ネパール政府と国連で交通の便を改良すべく努力を重ねています。

【写真はアショカ王の柱】

公式領収書が全ての寄付者に本部より発行されます。多大な寄付がお寄せ頂けるものご心より期待いたしております。

世界仏教徒連盟  
会長 ブリン・ピスマイ・ディスクル

### 16ミリカラー映画

### 「聖なる園ルンビニー」

布教化の資料に

ネパール政府ルンビニー開発委員会企画の記録映画「聖なる園ルンビニー」仏陀の生誕地ネパールが完成。この映画は十六ミリカラー作品で、ルンビニーやチラウラコット遺跡を美しい映像でありますところなくとらえ、また出土品や文化財などの紹介、ネパールの伝統芸術などをおしてブッダの生誕地を見事にとらえた意欲的作品である。

この作品は、文部省選定、五十三年度芸術祭参加、テレビ放映されるなど各分野より多くの反響を呼んでおり、宗派、県仏、諸団体、学校などにおいての布教化資料となる。

詳細、問い合わせ、申し込みは、東京都渋谷区宇田町二八の三・山王ビル四F日本映画研究所制作事務所内、映画聖なる園ルンビニー普及会、電話〇三三四六一一五四三〇、頒布十六万五千円、上映時間二十八分。

# WFB日本大会寄金

## 【救援世話人会扱】

貳拾万円 中山理々  
拾万円 摩尼清之、小坂機融、深天寺、山口貴美子、麻布照海、巖谷勝雄

六万円 布村哲哉

五万円 中野顕文、金富寺、望月良晃

四万円 長田順海、寺田康順、国柱会、川端照道

二万円 松田亮三、佐藤密雄、高橋隆天、内藤隆敏

二万円 五十嵐意承、高尾山聖王院、長遠寺、成田光穂、聖徳寺、長谷川俊明、井坂信興、田中政海、鎌倉広明、鷲見東鏡、土方保道、高田定信、船口暉子、鎌田良昭、安中勝竜、木村直三郎、稲田稔界、北川教全、橋本芳契、阿部顕瑞、茂木隆心、鈴木謙成、小態寛澄、井上三郎、佐藤隆賢、寿福寺、藤原田忠、荒木邦雄、大本山総持寺、浜田嘉伸、坂本観寛

## 【関連業社扱】

五拾万円 東京博善事業連合会  
三拾万円 日本宗教用具懇話会  
拾万円 日本香堂、安田松慶堂、池田屋仏具店、翠雲堂、薄田商店、浜田商店、みず平前田立平男商店、アジア金屬工業

五万円 難波商店、山本仏具店

三万円 小野工業所、井筒法衣店、大重法衣店、三法堂、松栄堂、藤菱法重店

二万円 小野屋漆器店

貳拾万円 麻布弘海、安藤義祐

拾万円 華山恵光、豊原大潤、木辺章慈、小西日静、佐藤寛雄、大島見道

五万円 林晃海、永見聖美、吉田俊賢、菅盛竜心、木辺宣慈、杜多信雄、野中純道、渡辺清波、永野鎮雄、植松威

二万円 小野秀吉

二万円 伊藤まち、小沢俊子、風間さだ、大山のり

五拾万円 千坂精道

三拾万円 寺田康順、東条仁哲

二拾万円 長田順海

拾万円 白川良純、小崎竜雄、浜田嘉伸、摩尼清之(計二十万)、藤井真水、内田大寛

八万円 北条賢三

六万円 門屋大寿

五万円 真義義實、藤沢実晃、丸山宗隆、野呂幸進、坂東性純、久保登大清、小林忍戒、井上文克、鶯地一隆、川口良信、山

下通雄、土佐舜成、斎藤价州、島田喜久子、旗本宏昌

三万円 友繁神弘

一万円 塩入亮達

五千元 吉岡棟一

【注】救援世話人会は、外貨事情がわるく出国不可能なセンターの来日を援助するためご協力をいただきました。

## 東西でにぎやかに

## 新年懇親会ひらく



—西—

全日本仏教会の新年懇親会は一月二十九日午後四時より、評議員会・理事会に引き続いて京都ホテルで開催され、大谷会長をはじめ各宗管長、総長、県仏など八十名が出席し盛況であった。

中村文化部長の司会ですすめられ、辨淵事務総長の開会の辞、山田無文副会長の導師で三層依文唱和のあと、大谷会長と町田理事長(代理)が挨拶、西口公教大阪府仏会長の乾杯で宴に入った。スピ

## おわび

一九七九年版「全仏手帳」はご好評を得て早々に売切れ、ご希望の方々の意に添えませんでしたことをおわび致します。

一氏は中里徳海大台宗々務総長をはじめ宗派、県仏、団体の代表がつぎつぎと年頭所感を述べ賑やかであった。最後に木辺章慈木辺派管長の首頭で、全仏の弥栄を祈って万歳三唱、安藤事務次長の閉会の辞で散会した。

—東—

東京で開かれた新年懇親会は、東京浜松町の世界貿易センタービルで開かれたWFB日本大会実行委員会の解散式のあと同所にて開催。

加藤総務局長の開会の辞、金子日威東京都仏会長の三層依文のあと、川田聖寛副会長が挨拶。つづいて斎藤邦吉自民党幹事長、品田聖平日宗連代表より祝辞があり、松村寿顕日蓮宗々務総長の乾杯で和やかな宴となり、百人を越す出席者はお互いに大会の思い出話や苦労話に話を映かせた。その間には藤波孝生自民党副政調会長や岡野正實孝道教団総理などのスピーチがあり、またスリランカ台風禍救援募金を募り行なわれた。白川良純実行委員会総務委員長の万歳三唱、竜山組織局長の開会の辞をもって終了した。

【写真は京都の懇親会】

# スリランカへ救援金

## 台風被害の復興にご協力を

昨年十一月下旬に、スリランカ全土を襲った大型台風は、各地に甚大な被害をあたえた。WFBスリランカセンターのエディリシenge会長より救援方の依頼状が寄せられ、その書簡によると、風速四十五メートルという猛台風で、スリランカ全土の一般民家をはじめ学校、病院、寺院などに大きな被害があったといわれる。

また、仏跡として名高いアヌラダプー

ラ、ポロンナルワ、キャンデー地区も被害をうけている。

スリランカ政府では、直ちに国家的規模で救援活動にのりだし、ユネスコ諸機関、赤十字社にも強力な援助の申し入れをしているが、わが国仏教徒の民間レベルでの支援を強く望んでいる。

全仏仏では、スリランカに縁の深い仏教徒をはじめ、広くご支援を要望している。全仏仏では、取敢えず拾万円の救援

## 全仏略語集



### 全仏ロビー

春の高校野球が甲子園球場で開かれる。主催するのは高野連、もろろん高野山とは無関係で、全国高等学校野球連盟の略称である。昨秋開催された世界仏教徒会議日本大会でもWFBという略称がしばしば使用されたことは記憶に新しい。

全仏関係でも略称で呼ぶことがあり、ま

ついでともありますので、思いつくままに記しておきます。

- 全日仏青年 全日本仏教青年会
- 全日仏婦人 全日本仏教婦人連盟
- 近代仏研 近代仏教研究会
- 日仏保 日本仏教保育協会
- 仏政同 仏教徒政治同盟
- 本派・西 浄土真宗本願寺派
- 大派・東 真宗大谷派
- 全仏加盟の団体では以上のような略称で呼ぶこともあります。また坊仏(埼玉真仏教会)、東仏(東京都仏教連合会)などとも真仏を略することもあります。
- 日宗連 日本宗教連盟
- 新宗連 新日本宗教団体連合会

## 各方面から救援寄金

金を在日スリランカ大使館を通じて現地へ送達した。ご援助をお寄せ頂ける方は左記へお送り下さるようお願いいたします。(台東区西浅草一―五十五、全日本仏教会国際部 電話八四三二―三三二一)

- 五万円 真言宗豊山派
- 三万円 柳下堅
- 二万円 長遠寺
- 一万円 荒木有信、佐納千代子、狭間宗義、野谷順貞、小宮勝憲、結城静心、村田秀夫、原田環爾、田中弥吉、榎本信明、結城寺、千坂精道、上杉泰顕、畠中司、畠中浩司、高徳院、小峰令丸、越塚治規、横山尚空、瑞岩茶園
- 宗平協 日本宗教者平和協議会
- 全青協 全国青少年教化協議会
- 世連仏 世界連邦日本仏教徒協議会
- WFB 世界仏教徒連盟
- WFBY 世界仏教青年連盟
- WCRP 世界宗教者平和会議
- ABCP アジア仏教徒平和会議
- IBEC 国際仏教交流センター
- また青年僧の集まりでも、天台仏教、浄土、日蓮など宗内では呼んでいるところもある。
- 昨年来日したフランスのラグビーチームの試合結果は新聞に「全仏大勝」とありました。

## 浜田仏具店に感謝

WFB大会に多大の協力

- 久保幸太清、浦和市仏教婦人会
- 阿部章文、柳下傳一
- 五千円 吉水仰哲、大平智堂、鎌田良昭
- 村中末次郎、門屋大寿、戸部宣明、石川重治、横溝憲一、沢田光雄
- 三千円 阿部太郎
- 二千円 地福寺
- 一千円 原田みゆき、児玉文礼
- 九万九千七百六円 全仏新年親会出席者有志(東京)

## 時局対策小委発足

一般消費税の検討が関係官庁間に於てなされ、宗教法人に関わる問題点が同われる現状下、事務局では対策部門を設けこれが対応の方策と加盟団体への伝達が急務として、笑勲に当るべく決定をみた

財団法人 全日本仏教会

◇掲◇示◇板◇

▼全日仏青 全日本仏教青年会(平原隆秀理事長)では一月二十九日に東京ランドホテルにおいて理事会を開催、次期理事長に永倉嘉文師(神奈川県仏青・日蓮宗)を選出した。

▼仏教伝道協会 仏教伝道協会(沼田恵範会長)で行なう仏教伝道文化賞・同功労賞の選定委員会が開かれ、第十三回文化賞に、A項(研究、論文など)より長尾雅人京都大学名誉教授、B項(文芸美術など)より写真家の土門拳氏が選ば

れ、功労賞に竹村吉右衛門氏と玉井好孝師が選出された。三月二十七日に仏教伝道センタービルで受賞式が行なわれる。

▼全仏専門委員会 全仏の国際専門委員会は三月十二日午後二時より、文化専門委員会は三月八日午前十一時半より開かれる。

▼宗教法人審議会委員 文化庁の宗教法人審議会委員に、二月二十日付をもって町田宗夫(曹洞)、芝原郷音(本派)松村寿頭(日蓮)、野村宗春(浄土)の四師が委嘱されました。

▼宗教法人管理者会議 文化庁事務課

\* 4月8日はお釈迦さまのお誕生日  
**花まつり**



花まつりのポスター

どしどしご利用下さい

花まつりの行事は年々盛大に行われ、ていますが、さほど全国的に浸透せしめるために、全日本仏教会では写真のよりに統一したポスターを作成し、広

以上は送料全仏負担(外国は別途)

◎申込先 東京都台東区西浅草一丁目五十五(二二二) 全日本仏教会花まつりポスター係

◎定価 一枚百円

◎サイズ 74×52センチ

昭和五十四年三月一日発行  
三月号 第二四六号

発行人

編集人 安本利正

発行所 財団法人

全日本仏教会

東京都台東区西浅草一丁目五十五(東京本願寺内)  
電話 〇三(八四三) 六三四一〜三

の主催する包括宗教法人等管理者研究協議会(東京会場)は三月六日午前九時半より東京・国立教育会館において開催される。

▼天台門跡人事 輪王寺門跡・寛永寺住職に青沼寂暹師、妙法院門跡に杉谷義周師、三院門跡に神原玄祐師、毘沙門堂門跡に梅山田了師がそれぞれ選ばられた。

WFB日本大会記念  
英文出版物について

第十二回WFB日本大会を記念して出版いたしました日本語の紹介—Understanding Japanese Buddhism—の残部が多少ありますので、加盟団体関係者のみにつき、実費千円(送料を含む)にて配布いたしますので、ご希望の方は全仏事務局まで申し出下さい。

黒田 白純師(全日仏理事)

二月四日、老衰のため遷化、八十歳。元全日仏事務総長、前栃木県仏教会々々長等を歴任、またWFB日本大会の総務委員、日本宗教連盟参議、全日仏理事として活躍されていた。本葬は三月二十七日午後一時より、栃木県大田原市の光真寺にて執行される。

事務総局録事(一月)

八日 業務始め

寺院用具

浅草通り五鳳会加盟店

株式会社 浜田商店

東京都台東区寿2-10-9(地下鉄田原町駅前)

電話 代表 (841) 4965

- 十日 局内会議
- 十一日 総長会、常務理事会(京都)
- 十三日 埼玉県仏新年会出席
- 十七日 局内会議
- 十九日 全日仏婦修正会
- 二十四日 局内会議
- 二十九日 自民党大会出席
- 理事会、評議員会(京都)
- 新年懇親会(京都)
- (二月)
- 六日 局内会議
- 九日 実行委員会解散式
- 新年懇親会(東京)
- 二十日 局内会議
- 二十七日 茨城県仏へ